

データヘルス計画

三重県後期高齢者医療広域連合

健康・医療情報を活用して PDCA サイクル（*）に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画

【背景】

- 高齢者の大幅な増と医療費の増嵩
- レセプト等の電子化、国保データベース（KDB）システム等の整備による、被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備の進展



「レセプト等のデータ分析、それに基づく「データヘルス計画」の作成等、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進すること」（日本再興戦略（H25.6.14 閣議決定））



- 「広域連合は健康医療情報（健康診査結果、レセプト、各種保健医療関連統計資料、介護に関する情報など）を活用し PDCA サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施および評価を行う。」（「保健事業実施方針」（H26.3.31 厚生労働省告示第 1 4 1 号））

【現状】

- 県内人口 1,820,324 人(H25 年度末、H26.4.1 県発表データ)
- 被保険者数 241,408 人（対人口 13.3%）対前年 2,592 人増（1.1%増）
(H25 年度末)
- 1 人あたり年間医療費（H25） 809,050 円 対前年 12,210 円増（1.5%増）
- これまでの実施事業
 - ①健康診査事業
 - ②無医地区における健康保持増進事業（津市、熊野市、紀宝町）
 - ③後期高齢者医療制度パンフレットの配布（各市町）
 - ④後発医薬品利用の促進啓発
 - ⑤重複受診者への訪問指導(各市町)

【計画策定】

- 平成 2 6 年度中に計画を策定し、公表する（計画期間は 3 年間(平成 2 7 ～ 2 9 年度)）
- 年度ごとに評価し、見直しを行う
- 既存の実施事業をベースに、データ解析を含め、外部に業務委託し策定
- データは KDB システムを活用
- 国保連合会の国保・後期高齢者ヘルスサポート事業による支援を受け策定

* PDCA サイクル

Plan(計画)健康課題の分析、保健事業の企画→Do(実施)保健事業の実施→Check(評価)保健事業の検証→Act(改善)保健事業の修正→Plan へ